

令和4年度 小平十三小 教育活動に関するアンケート 集計結果と考察

令和4年度の「教育活動に関するアンケート」は、保護者と全児童に分けて実施し、以下のような結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

ご多用の中、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

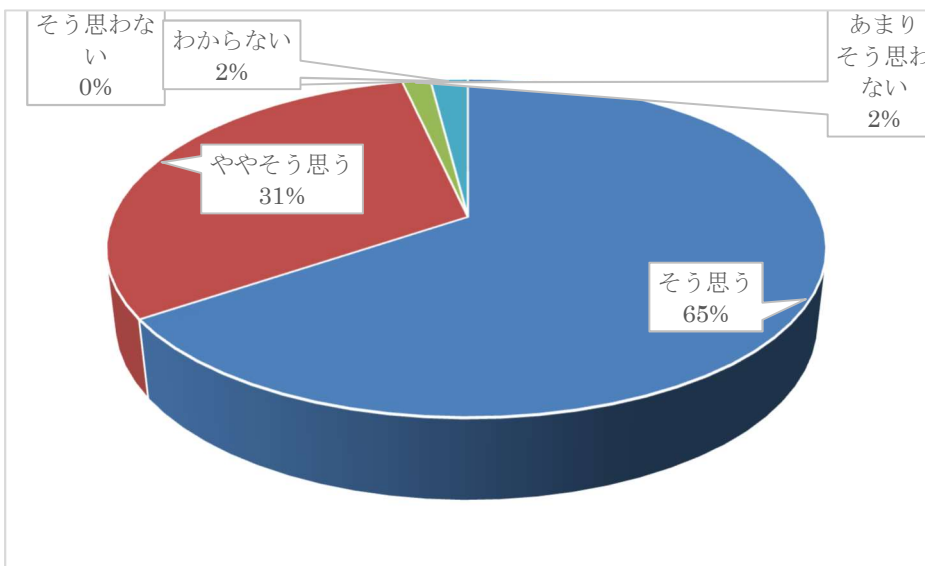
I 保護者アンケート集計結果

全校児童数 : 370名 回答数 : 197件 (児童1名について1回答)
回答率 : 53.2%

今年度は、回答方法をフォームへまとめました。これはマークシートとメールによる回答集計の手間を省くとともに、グラフ化の効率を上げるためでしたが、結果的に回答率が5割強にとどまりました。今後、アンケート実施の周知や、回答方法の工夫を加えて回答率を上げていくことが課題です。

いただいたアンケート結果は、おおむね肯定的な評価でしたが、中には次年度の教育活動に大きく反映させねばならない結果となった項目もあります。全教職員で結果を共有するとともに、令和5年度の教育活動に反映させてまいります。

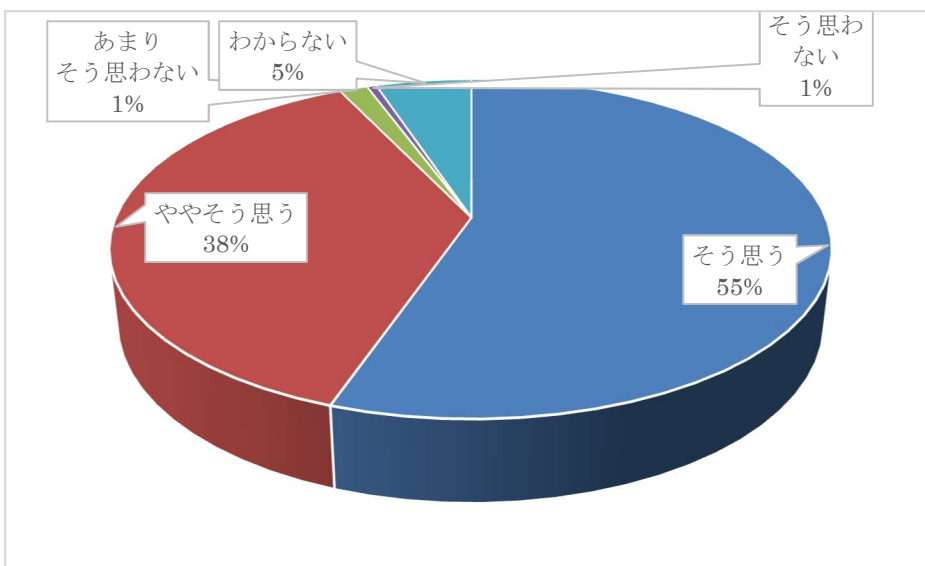
1 学校は子どもたちが楽しく、生き生きと活動する場所となっている。



【結果考察・今後の取組】

96%の肯定評価をいただきました。今後とも十三小が、子どもたちにとって、楽しく生き生きと活動できる場となるよう、教職員一同努力を続けてまいります。

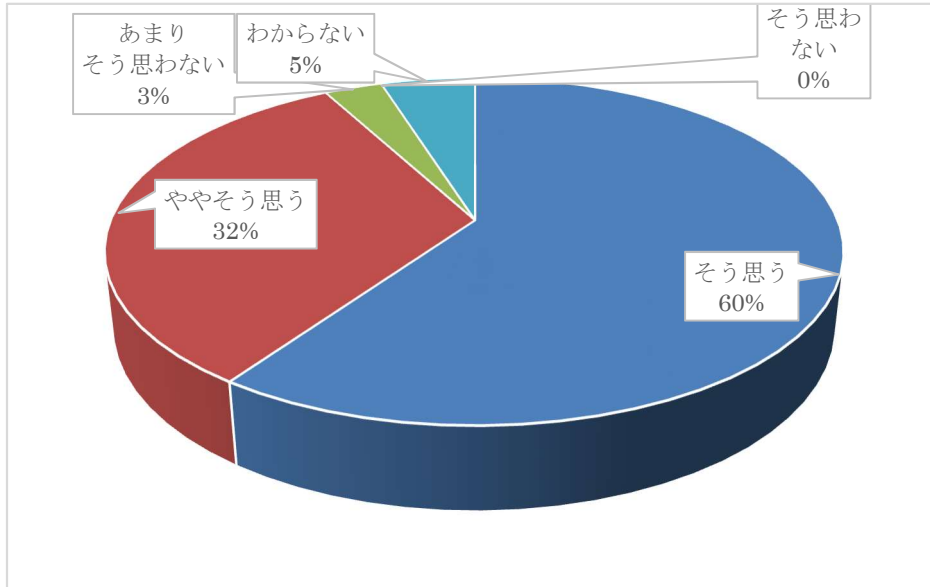
2 学校は十三小保教の会や関係諸機関と連携して、子どもたちの安全に関する取組を行っている。



【結果考察・今後の取組】

93%の肯定評価をいただきました。朝の立ち番や災害時の見守りなどの他、警察と連携した不審者対応訓練、消防署と連携した煙体験など、様々な活動を行ってきた成果と考えます。一方で「わからない」を含めた数字も7%あります。今後とも学校ホームページなどを使った広報活動を通して、現状や成果をお伝えしていきます。

3 学校は学習のルールについて指導し、規律ある授業を行っている。

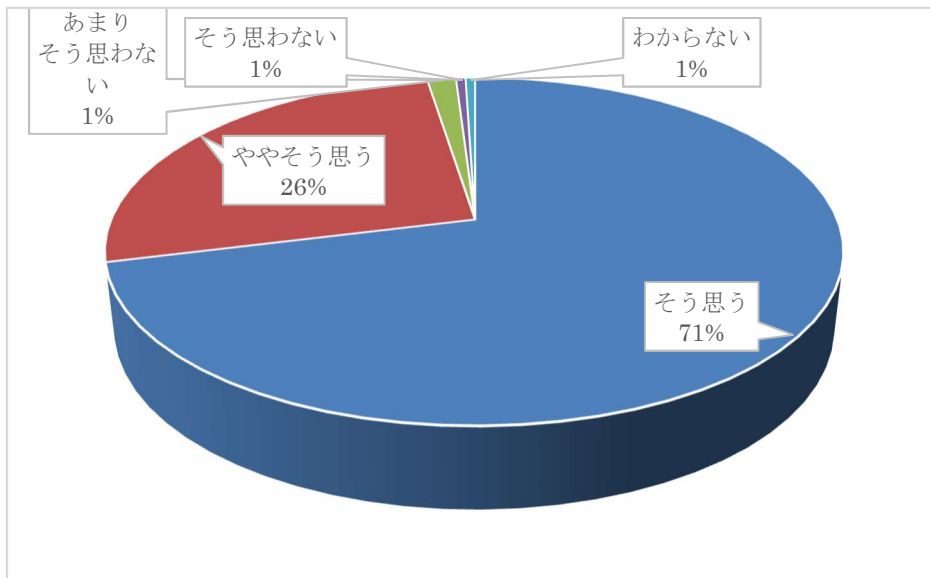


【結果考察・今後の取組】

学校公開などの機会を通して子どもたちの学習の様子をご覧いただき、このような結果をいただいたものと捉えています。92%の肯定評価に対して、「わからない」の回答もあります。今後とも学習の規律が整った学習環境の整備に努めてまいります。

規律が整うことと、黙って座っていることは別です。学習内容に子どもたちが前向きに取り組む規律を整えていきます。

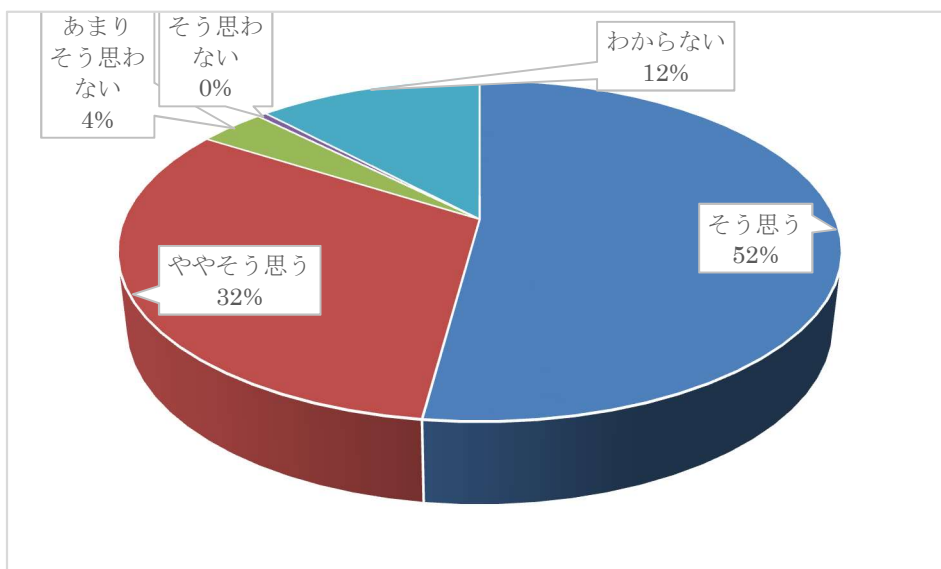
4 学校は運動会やなわとび月間、裸足の外遊びなどを実施し、子どもたちの健康増進・体力向上を図っている。



【結果考察・今後の取組】

本校は小平市で唯一の校庭芝生化を実現させ、裸足の運動会や裸足の外遊びを実践しています。このほかにも、縄跳び月間、マラソンの実施など、年間を通して体力向上の取組を計画的に配置しています。今後、脱コロナとともに、これらの活動をより一層充実させ、肯定評価100%を目指していきます。

5 学校は学習ボランティアやゲストティーチャーなど地域の人材と共同し

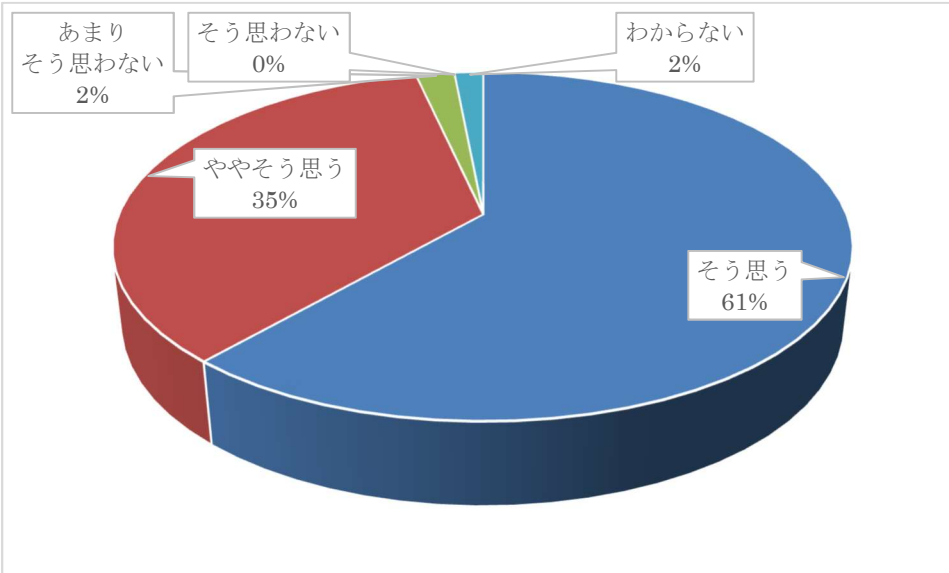


【結果考察・今後の取組】

84%の肯定評価に対して12%の「わからない」という回答をいただきました。「わからない」の回答が最も多かった項目です。今年度、本校の教育活動に携わった地域の皆様は、授業だけでものべ200人を越えています。今後もボランティア等の活動を様々な手段でお伝えしていくと共に、地域と一体となった教育活動をより一層充実させてまいります。

た授業を、積極的に行っている。

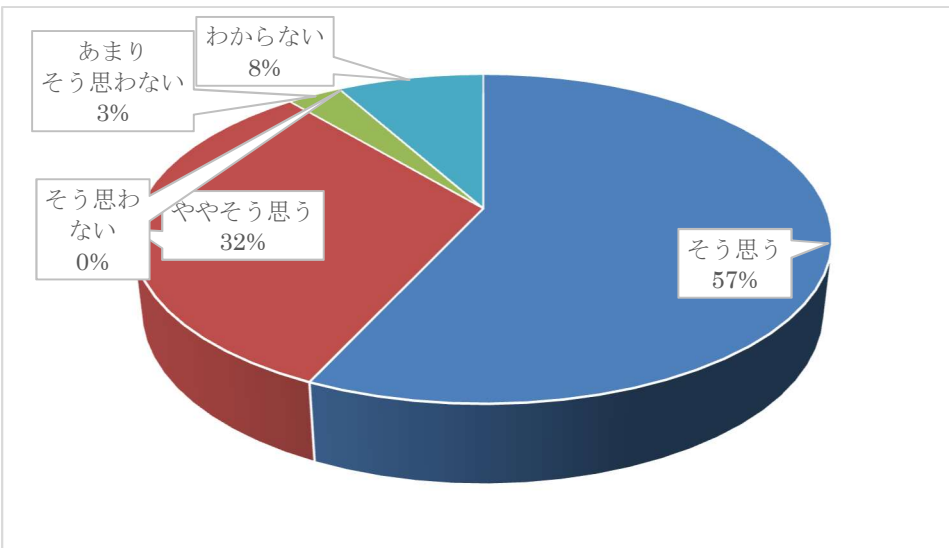
6 学校はホームページや学年・学級だよりなどで、教育活動をわかりやすく伝えている。



【結果考察・今後の取組】

学校ホームページを使った広報活動は、今年度の重点の一つでした。閲覧数は年間で4万回を超える見通しとなり、保護者・地域の皆様の教育活動への関心の高さがうかがえます。今後とも日々の教育活動の他、十三小の目指す理念、健康・安全にかかわる情報などを幅広く発信してまいります。

7 学校は保護者や子どもの相談に適切に応じている。

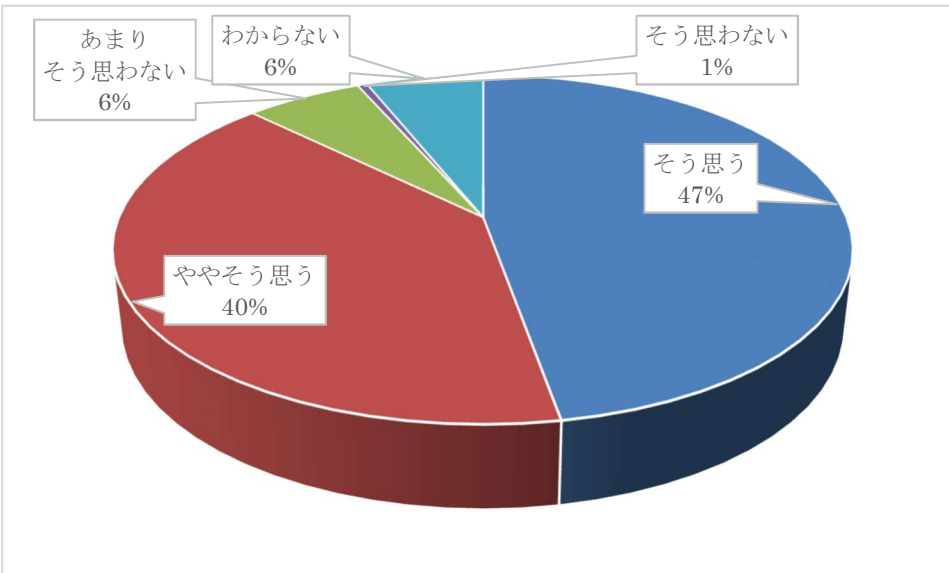


【結果考察・今後の取組】

89%の肯定評価は高い数字と受け止めています。今後ともスクールカウンセラーとも連携しながら相談体制の充実に努めてまいります。

また、担任と子どもたちとの信頼関係を高めながら、何でも相談できる雰囲気づくりにも努めてまいります。

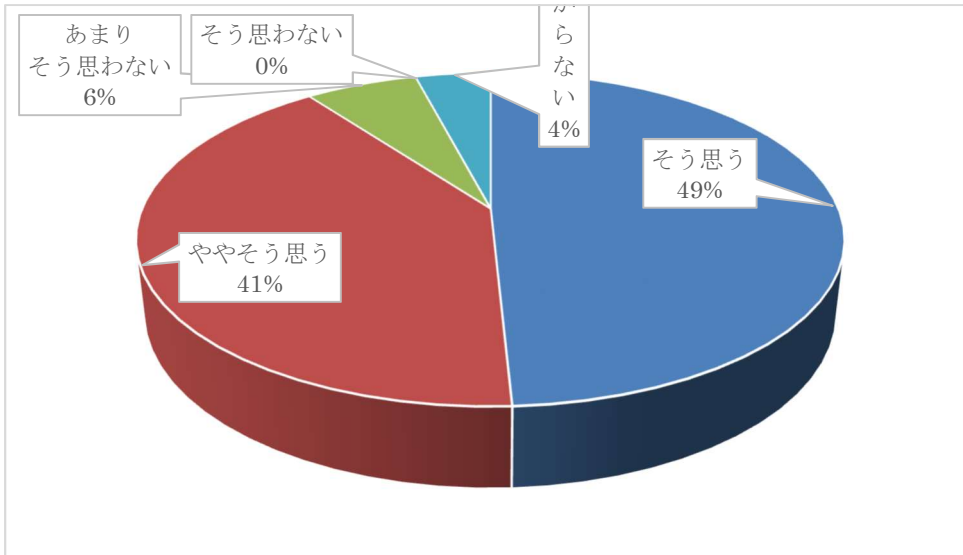
8 学校はあいさつや言葉遣いなど、基本的な生活習慣を身に付ける指導を行っている。



【結果考察・今後の取組】

あいさつや言葉遣いについては、各学級だけでなく代表委員会など子どもたちによる啓発活動も行いながら、指導を継続しているところです。また社会性の基礎となる基本的な生活習慣の定着にかかわる指導も、各学級で力を入れています。今後も保護者・地域の皆様のお力添えをいただきながら、指導の充実に努めてまいります。

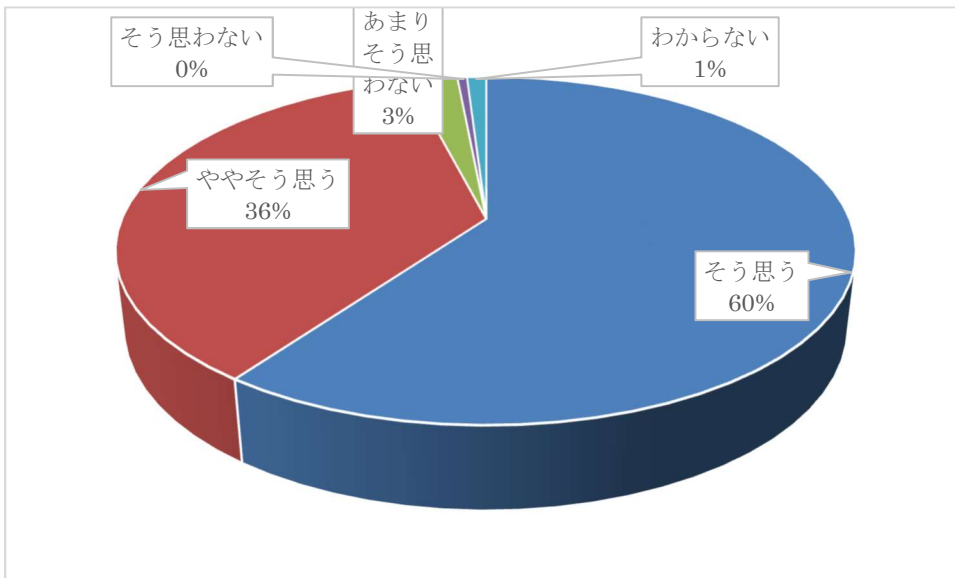
9 学校は学力の向上や、タブレットなど ICT のスキルを高める指導を行っている。



【結果考察・今後の取組】

学習者用端末（タブレット）の日常的な活用は、今年度本校の最重点事項でした。現在では、ほぼ全員の子どもたちが端末の操作を行う授業が日常的になりました。今後は家庭での端末活用を進め、活用のスキルを高めるだけでなく、一人一人の学習進度や進捗に合った活用方法を模索しながら、学習の個別最適化を目指していきます。

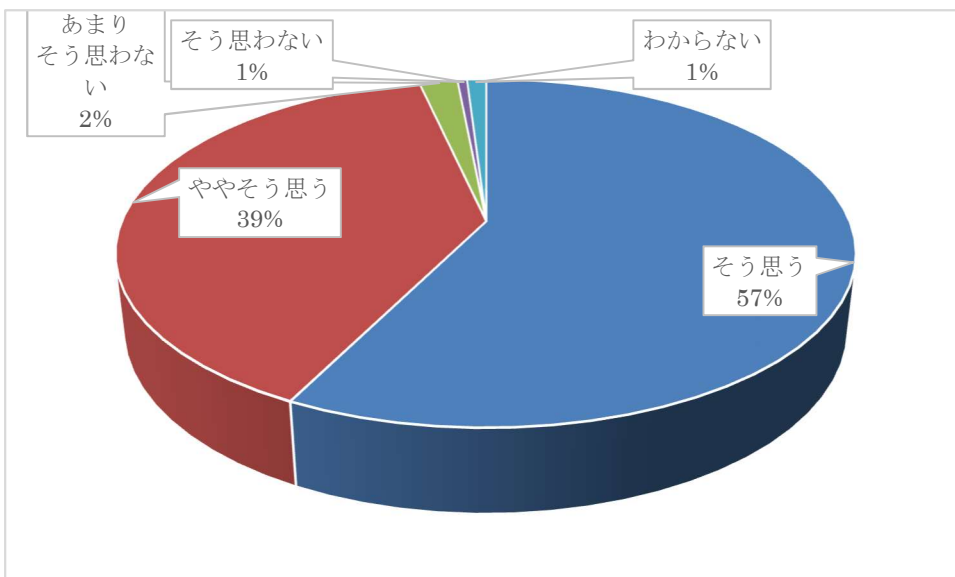
10 子どもは友達と仲よく過ごせている。



【結果考察・今後の取組】

児童アンケートの結果では、「友達を大切にしている」に97%が肯定評価を回答していました。学校全体として、本校の目指す子ども像である「他と共に」が意識されていると捉えています。今後とも相手意識、他者を肯定的に見る意識の涵養を図りながら、「他と共に」を一層意識させた教育活動を展開していきます。

11 子どもは社会のルールを守り、安全や健康に気を付けて過ごせている。

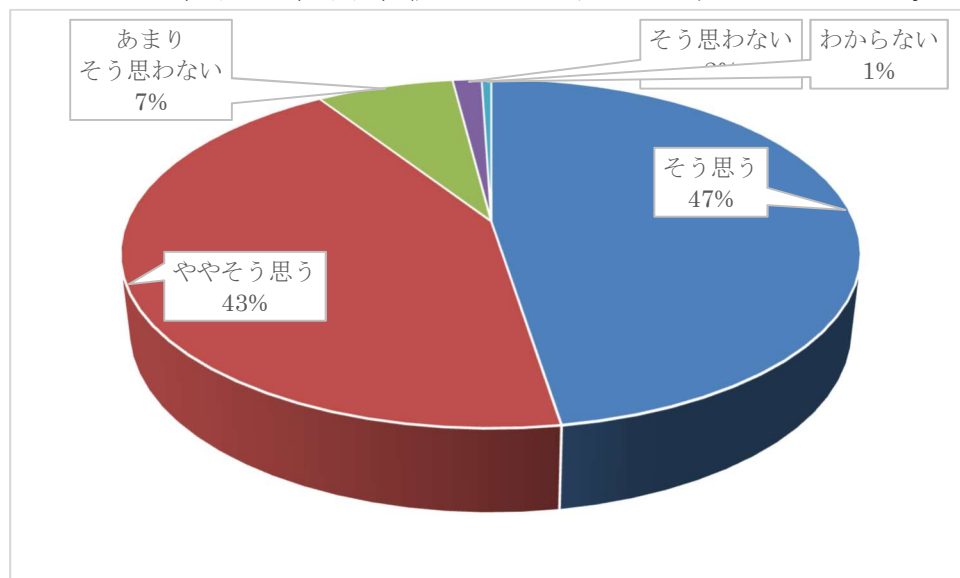


【結果考察・今後の取組】

社会のルールに関しては、今後とも道徳科や生活指導の場を通して指導を継続してまいります。

栄養士を中心とした食育や食の健康にかかわる指導や啓発を、次年度も積極的に推進していきます。

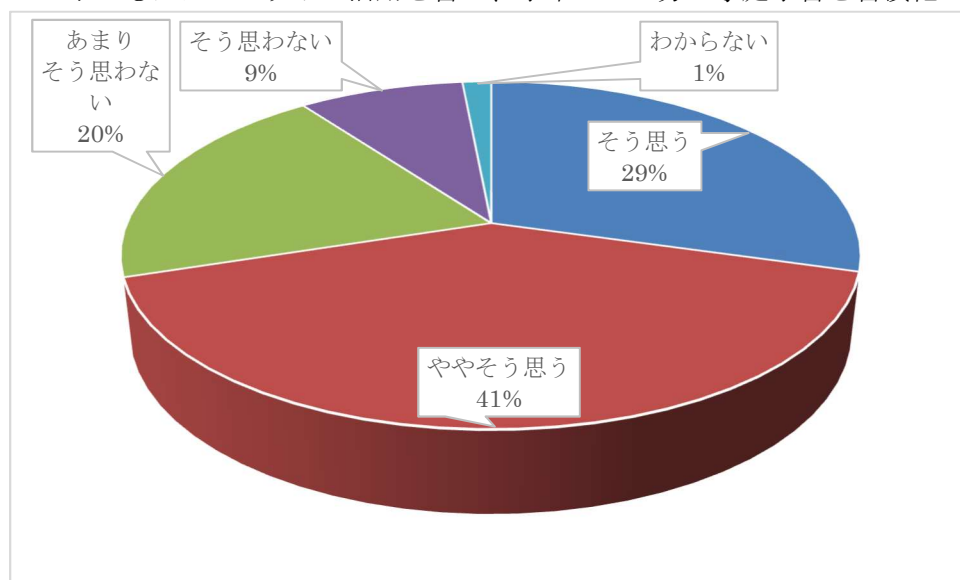
12 子どもは、早起き、早寝、朝ごはんを実行して健康に過ごしている。



【結果考察・今後の取組】

早起き、早寝、朝ごはんなど、家庭での健康に関しても、今後保健室からの情報発信や、健康診断（計測）の際の保健指導などを通して、啓発を続けてまいります。

13 子どもはタブレットの活用を含め、学年×10分の家庭学習を習慣化している。



【結果考察・今後の取組】

今回実施した13項目のアンケートで、最も肯定評価が低かった設問です。家庭での学習の習慣化には、学年・学級からの課題提示はもちろん、一人一人の進度や進捗に合わせた課題が必要です。これらは学力向上にもかかわって、次年度の大きな課題になります。